

アーカイブズに基づく核融合研究年表の編纂

Compilation of Chronology Based on Fusion Science Archives

木村一枝、松岡啓介、難波忠清、花岡幸子、¹⁾寺嶋由之介、²⁾大林治夫、
²⁾藤田順治、³⁾西尾成子、⁴⁾植松英穂、⁵⁾小島智恵子、⁶⁾狐崎晶雄

核融合研、¹⁾名大名誉教授、²⁾核融合研名誉教授、³⁾日大名誉教授、⁴⁾日大理工、⁵⁾日大商、⁶⁾高度情報科学技術研究機構

KIMURA,K., MATSUOKA,K., NAMBA,C., HANAOKA,S., ¹⁾TERASHIMA,Y., ²⁾OBAYASHI,H., ²⁾FUJITA,J., et al.
 NIFS, ¹⁾Prof. Emeritus of Nagoya Univ., ²⁾Prof. Emeritus of NIFS

著者らは核融合科学研究所・核融合アーカイブ室の活動の一つとして核融合研究の年表の編纂を進めている。歴史の理解には年表は不可欠である。この年表作成に際しては、ある出来事の年号を点描的に知るだけでなく、空間的な広がりや大きな時間の流れとの関連で把握できるように工夫し、年表の事項の対象分野として、各大学及び研究所、文科省（文部省、科技庁）原子力委員会、日本学術会議、懇談会・学会、国外、社会の動き、産業界を選んだ。また、その他の項目として、必要に応じて簡単な説明を付記する「特記事項」、関連する資料が核融合アーカイブズに存在する場合の「参照 ID」、オーラルヒストリーなどで特定のテーマの年表を再編纂する際に必要な「分類」、検索のための「Key word」、年表の国際的な活用を視野に「English version」を設けている。

アーカイブ室は、核融合研究開発の経緯について、文書資料のみでは充分理解できないことをオーラルヒストリー（インタビュー）によって補うことが重要な活動の柱の一つであるが、その場合にインタビューのテーマに即した関連年表を作成し、インタビューの進行の手がかりとしている。たとえば、右の表は、核融合研究開発の初期のころの事情、特に産業界との関わりについて山本賢三氏にインタビューした際に作成した年表の一部である。

核融合アーカイブ室における核融合研究の資料の収集は個人の提供に頼らざるを得ないところがあるが、今後、系統的に資料を収集するためには、年表を有効に活用したい。

山本賢三先生インタビュー関連年表

学:日本学術会議、科:科技庁、産:産業界、文:文部省、原:原子力委員会

年月日	分類				事項	核融合アーカイブズID
	学	科	産	文		
1956.1.1					原子力委員会設置 原子力3法施行(原子力基本法、原子力委員会設置法、原子力局設置に関する法律)	411-01
1956.3.1			産		社団法人日本原子力産業会議創立	511-33
1956.5.19		科			科学技術庁設置	510-46
1956.6.15		科			特殊法人日本原子力研究所発足(理事長:安川第五郎)(1955.11.30 財団法人として設立)	512-32
1957.2.6					第1回核融合反応懇談会(原子力委員会会議室)	301-04-02
1957.4.1		科			日本原子力研究所 東海研究所設置	504-10
1958.4			文		核融合懇談会発足	301-04-09
1958.5.19					原子力委員会核融合専門部会(部会長:湯川秀樹)第1回会合	301-11-03
1958.1	学				第27回総会 核融合反応研究の促進について(勧告)	308-17
1959.2.14			文		日本原子力学会設立(会長:茅誠司)	504-07
1959.2.20					核融合専門部会 基礎研究を中心に積み上げを行う A 計画および外国で開発されたものを改良建設するB 計画の2つの研究方向を提案	301-01-06
1959.4.22		科			日本原子力研究所 核融合研究委員会発足 (委員長:山本賢三)	302-07-01
1959.5.14	学				第1回核融合特別委員会(委員長:伏見康治,幹事:川崎栄一,副幹事:川上一郎)	301-11-01
1959.5.14	学				学術会議講堂において原子力問題委員会、核融合特別委員会主催「核融合研究の進め方に関するシンポジウム」	301-11-04
1959.11.17		科			核融合研究委員会報告書(B 計画報告書)	302-07-08
1964.8	学				第30回核融合特別委員会 将来計画小委員会発足(委員長:山本賢三)	160-10
1968.7.4					原子力委員会第1段階核融合研究開発基本計画(1969-1973)策定	002-21-15